

2011年3月1日

各位

日本ゼオン株式会社

日本ゼオン、新しい Zetpol®の製造プラント建設を決定

日本ゼオン株式会社(社長:古河 直純 東京都千代田区)は、川崎工場内に、新しい水素化NBR (Zetpol®) 製造プラントを建設することを決定しました。

川崎工場においては、二年前までに整地まで進めていましたが、いわゆるリーマン・ショックの影響でお客様の事業環境も変わり、当計画の実施を見合わせておりました。今回、市場評価も進み、要請も高いことから、新プラント建設を実行することにいたしました。

この新しいZetpol® は、ポリマーデザインの自由度を飛躍的に向上させ、新たに開発したベースポリマーを通して、市場からのZetpol®に対する高機能化要求に幅広く対応できるようになりました。

世界的な環境問題から、新車への低燃費、CO₂排出低減の要請は今後益々厳しくなると考えられます。自動車市場においては、より燃焼効率の高いシステムへの移行が進み、耐熱、耐油、耐燃料油性ゴム部品の更なる長寿命化が重視され、その需要も大きく拡大すると想定しております。

当社はこの新しい水添技術を活用し、水素化NBRの耐油性、耐熱性などの優れた特徴を更に改善しつつ、併せてシール性、摩耗性を大幅に向上する新しいZetpol®を、世界で初めて開発・商品化いたしました。既にサンプル品の提供を開始しておりますが、特に、自動車の吸気系ガスケット材料やミッション廻りのシール部品の耐熱性、耐圧縮永久歪性向上に優れた効果を発揮しており、国内外需要家から高い評価を頂いています。

以上

問い合わせ先
日本ゼオン株式会社
CSR 統括部門 広報室
電話 03-3216-2747

ZEON